

# 令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

## 東白川村青少年育成村民会議

### 1. 共通推進3運動の実施

「明るいあいさつ・履き物そろえ運動」

「お願いします、ありがとうございます運動」

「大人から示そう子どもによい手本運動」

本村が長年にわたり推進している運動です。教育関係団体の会議資料に一貫して掲示することで、学校・保育園・家庭・地域が同じ価値観で子どもを見守る基盤を築いています。

### 2. 子ども応援委員会の開催

上記の基盤をより強固にする仕組みとして、学期末ごとに開催している「子ども応援委員会」は重要な役割を果たしています。保育園・小中学校の状況を共有し、青少年育成委員や社会教育委員、校長・生徒指導主事、PTA会長、子ども会育成委員会長、保育園長、や保護者会長、子育て支援室長、高校生保護者会長に加え、教育長や教育委員会事務局が一堂に会することで、現場の声や政策や見守り活動に直結する仕組みになっています。

令和7年度は「防犯パトロールマグネット」を作成し、委員会メンバーや民生委員などに配布し、車に貼り付け村内での子ども見守り活動をPRしました。役場の公用車や村内事業所の車両にも貼り付けを行っています。



### 3. 村の広報誌やCATVを活用した周知活動

広報誌やケーブルテレビを活用して、情報発信を行っています。年中行事やお祭り、子ども会活動、少年の主張大会などの子どもたちの活動する場面を積極的に紹介することで、地域住民に具体的な活動を伝え、世代を超えた支援の輪を広げています。



### 4. 子ども応援委員会だよりの発行

子ども応援委員会での共通理解をもとに、夏休み、冬休み、春休みの休暇期間に合わせて「子ども応援委員会だよりの」を年3回発行しています。新聞折込みやフリーペーパーなどで全世帯に配布し、地域への見守りのお願いや活動報告、小中学生の取り組む情報モラルの約束事などを掲載し、家庭と地域で共有すべき具体的事項を明示しています。



これらの取り組みを行い、子どもたちが安心して成長できる環境を育み、「村ぐるみで青少年健全育成」を継続していきます。